

臨床医学研究のお知らせ

臨床研究により新しい診断法を確立することは大学病院の使命であり、患者さんのご協力により成し遂げることができるものです。御協力と御理解をお願い申し上げます。

この研究では、患者様の個人情報（お名前、住所、電話番号、診察券番号など）は使用しませんのでご安心ください。なお、ご質問がありましたら担当医師にお問い合わせください。

小児頭部外傷における 頭部CT検査適応の基準の開発に係る研究

Japanese Pediatric Head injury study to Establish Assessment Device (JP-HEAD)

頭部外傷は、小児の救急受診が多い代表的な傷病です。

頭を打撲した小児のほとんどは軽症で帰宅できますが、なかには重症例もあり、その診断は極めて重要です。

小児例は、症状の聴取・診察とも評価が容易でなく、頭部CT検査が頻用される傾向にあります。しかし、小児への頭部CT施行には、放射線被曝による影響に加え、検査のための鎮静剤の投与なども必要となることがあり、施行するか否かの判断に苦慮します。現在、その判断基準にはさまざま案がありますが、さらに良い基準の作成が求められています。

そこで、私たちは小児頭部外傷の実態調査から頭部CT施行の判断基準を作成することを目的に観察研究を計画しました。頭を打撲した15歳以下の患者さんにおいて、平成28年1月1日から平成32年12月31日までの5年間の診療に関連するデータを調査します。

この調査は、全国の救命救急センターや救急外来、小児科外来で一斉に行われます。この調査研究により、日本における小児頭部外傷に対する頭部CT施行の判断基準が作成できます。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容について調査を行います。

この調査では、参加を拒否することも自由です。もし、参加を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。

横浜市立大学附属市民総合医療センター六車 崇
〒232-0024 神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地
TEL:045-261-5656 (内線7116)